

## アスペルギルス属のアシラーゼ I、ユーパージット C に固定化された

Cat. No. NATE-0030

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 酵素学において、アミノアシラーゼ (EC 3.5.1.14) は、次の化学反応を触媒する酵素です：  
 $\text{N-アシル-L-アミノ酸} + \text{H}_2\text{O} \leftrightarrow \text{カルボキシレート} + \text{L-アミノ酸}$ 。したがって、この酵素の二つの基質はN-アシル-L-アミノ酸とH<sub>2</sub>Oであり、二つの生成物はカルボキシレートとL-アミノ酸です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、ペプチド結合以外の炭素-窒素結合に作用するもので、特に線状アミドにおいて働きます。この酵素は尿素回路およびアミノ基の代謝に関与しています。

**別名** アミノアシラーゼ 1; アミノアシラーゼ I; 脱水ペプチダーゼ II; ヒストザイム; ヒッピーリカーゼ; ペンザミダーゼ; アシラーゼ I; ヒッピーレース; アミド酸脱アシル化酵素; L-アミノアシラーゼ; アシラーゼ; アミノアシラーゼ; L-アミノ酸アシラーゼ;  $\alpha$ -N-アシルアミノ酸加水分解酵素; ロングアシルアミドアシラーゼ; ショートアシルアミドアシラーゼ; ACY1 (遺伝子名); N-アシル-L-アミノ酸アミド加水分解酵素; EC 3.5.1.14; 9012-37-7

### 製品情報

**由来** アスペルギルス属

**EC番号** EC 3.5.1.14

**CAS登録番号** 9012-37-7

**活性** > 50 U/g 湿った材料

**単位定義** 1 Uは、pH 8.0および25°Cで1 $\mu$ molのN-アセチル-L-メチオニンを1分間に加水分解する酵素の量に相当します。

### 保管・発送情報

**保存方法** 2-8°C